

「日本経済新聞」「日経産業新聞」に広告を掲載しました



2023年8月2日

当社は、ニチレキグループの社会貢献に向けた姿勢や技術力を幅広いステークホルダーの皆様にご理解いただくことを目的として、本日発行の「日本経済新聞 朝刊」「日経産業新聞」に広告を掲載いたしました。

なお、本広告は7月25日（火）に続く2週連続のシリーズ広告となります。

ノアの橋梁。

方舟への浸水を防いだアスファルトの方。
橋を守るために、ニチレキはこの力をどう進化させたのか。

旧約聖書の「創世記第六巻」には、神がノアに命じられたとされる方舟の造り方が詳細に記されています。その中には、方舟の防水として、なんとピツア（アスファルト）が利用されていた、という記述があります。創世記が編み込まれたのは紀元前5世紀ごろと言われますが、時すでにアスファルトの防水性が理解されていたという事実は驚かすまでもありません。現代の道路インフラである橋においても、防水は非常に重要なテーマ。橋げたの上にある「コンクリート床版」に水が染み込んでしまうと、内部の鉄筋が腐食し、劣化が進むからです。こうした事態を防ぐため、ニチレキはアスファルトの力を強化した高性能な防水材を用いて、浸水を防ぎます。防水性に優れた橋は、耐久性が高く、長寿命・補修工事の頻度を減らせ、CO₂排出量も削減できます。さらにニチレキは、床版の健全を電磁波を収めた独自の計測装置「Amber（床版キマチヤ）」で点検し、AIで解析し、手を打つ必要がある箇所をいち早く発見し、適切な対処方法の指導を可能にしました。橋は、人をつなぎ、交通をつなぎ、経済をつなぐライフライン。日常を途切らせたくないために、長持ちさせなければなりません。ニチレキは、ノアと多くの生き物たちを救ったアスファルトによる防水技術を時代を超えて進化させるとともに、最先端の高技術と組み合わせ、現代と未来に生きる人の安全を守ります。

まもるのは、時代をつなぐ「橋」。
ニチレキ

各製品・工法の動画はこちら ▶ smart検索チャッター ▶ 高性能型防水材の工場

ニチレキは新たな価値を「プラス」するサステナビリティへ。 **足可サナビリティ**



※2023年8月2日 掲載広告

→7月25日（火）掲載の広告は2ページ目



車輪の下。

日々、重圧を受け続けるアスファルト舗装。
疲弊したこのインフラを、ニチレキはどう救うのか。

ヘルマン・ヘッセは著書『車輪の下』の中で、「世れ切つてしまわぬことの大切さを登場人物に語らせた。道師もまた車両の重圧を受け続け、命を落とす。車輪の下に主人公と同じように落ち、即死、破滅します。その変化にいち早く気づき、手遅れになる前に、適切な治療をしなければならぬ点は、人となら変わりません。だから、道師のリーディングカンパニーであるニチレキは、道の健康状態を診断・治療する「医師」でありたいと考えました。たとえば「GLOBAL EYEZ（グローバルアイズ）」は、スマートフォンの撮影した路面の動画から、AIが正確に正確にひび割れや凹みなどの損傷状態を診断し、補修作業の必要箇所を判断します。補修には、舗装材の製造温度を低減し、CO₂排出量を減らす長寿命なアスファルト「スーパーシナカファルト」などで対応。既存の舗装をリサイクルする「リサイクルメントRC工法」と組み合わせれば、以前よりも防災や減災の面で優れた強靱な道路へと生まれ変わらせることができます。たくましく堅った道路は、補修作業の頻度を減らせるので、さらなるCO₂排出量の削減にも貢献。ニチレキはこれらから日本の道路インフラの健康を守り、安全で持続可能な未来を築きます。

つくるのは、未来につづく「道」。
ニチレキ

各製品・工法の動画はこちら ▶ GLOBAL EYEZ スーパーシナカファルト リサイクルメントRC工法

ニチレキは新たな価値を「プラス」するサステナビリティへ。 **足 可 性 可 性 可 性**



未知に挑み、「道」を創る。



T102-0202 東京都千代田区入船4-3-29
<https://www.nichireki.co.jp/>



※2023年7月25日 掲載広告